

1. 略歴

1987年4月	東京大学教養学部文科三類入学
1989年4月	東京大学文学部第一類（哲学専修課程）進学
1991年3月	東京大学文学部第一類（哲学専修課程）卒業
1991年4月	東京大学大学院人文科学研究科哲学専攻修士課程入学
1993年3月	東京大学大学院人文科学研究科哲学専攻修士課程修了
1993年4月	東京大学大学院人文科学研究科哲学専攻博士課程進学
1995年10月	ドイツ学術交流会（DAAD）給費奨学生として、ドイツ連邦共和国フライブルク大学（Albert-Ludwigs-Universität Freiburg）に留学（～1997年9月）
1998年3月	東京大学大学院人文社会系研究科基礎文化研究専攻哲学専門分野博士課程単位取得退学
1998年11月	日本学術振興会特別研究員（～2001年10月）
2000年3月	東京大学大学院人文社会系研究科基礎文化研究専攻哲学専門分野博士課程修了 博士（文学）学位取得
2002年1月	山口大学工学部 助教授
2005年4月	山口大学人文学部 助教授
2007年4月	山口大学人文学部 准教授
2011年4月	東京大学大学院総合文化研究科 准教授
2018年4月	東京大学大学院総合文化研究科 教授
2021年4月	東京大学大学院人文社会系研究科 教授

2. 主な研究活動

a 専門分野

哲学、特に近代から現代に至るドイツ哲学と現象学および実存哲学

b 研究課題

近代から現代に至るドイツ哲学、現象学、ならびに日本哲学のテキストの批判的読解を試みながら、人間の実存の本質構造に関する探究をおこなっている。われわれ人間の世界理解および自己理解の基本的構造を明らかにし、この構造が、その「超越的内在」との接触によっていかなる変様の経験を被るかについて考察することが現在の課題である。この課題を具体的に展開するため、1) いわゆる超越論哲学と生の哲学という二つの思考様式の必然的な絡み合いと、時として生じる自己矛盾にみちた展開を、ハイデガーを初めとする現象学や実存哲学のテキストに即して剔抉し、2) また、西田以降の近代日本哲学に特有な論理構造の哲学史的意義を明らかにして批判的に対峙することを試みている。

c 概要と自己評価

上記における二つの具体的課題を、ここ二年間の活動においては次のように展開してきた。1) については、「アレーテア」「非覆蔵性」概念をめぐるハイデガー哲学の展開を再構成するかたわら、「言語」に関するハイデガーの思索の意義をいまいちど全般的に検討する作業を、『ハイデガー事典』（2021.7）の多くの担当記事の執筆と全編にわたる共同編集に携わるなかで行い、側面的に進展させることができた。しかしながら、事典記事の作成という仕事の性格上、初学者向けの記述に徹することを余儀なくされ、主題的な展開という点では不十分なものに留まらざるを得なかった。だが、2) に関して「非合理的なもの」や「汝」をめぐる西田幾多郎の議論を、いわゆる「メタ存在論」をめぐるハイデガーの模索との理論的な対応関係において再解釈することを試みるなかで、1) に関する探究を前進させるための新たな着想を得ることができたのは大きな収穫であった。ここで得られた成果を、数年前に九鬼周造の「偶然性」論の批判的解釈において展開した考察と結合して、全体を体系的な布置のもとにもたらすことが今後の課題である。

d 主要業績

(1) 著書

共編著（ハイデガー・フォーラム編）、『ハイデガー事典』、昭和堂、2021.7

(2) 論文

古莊真敬、シンポジウム報告「世界哲学における西田」、『哲学雑誌』、2021.10

古莊真敬、「西田における「自覚」と「非合理的なるもの」」、『哲学雑誌』、2021.10

3. 主な社会活動

(1) 他機関での講義等

(着任前)

東京大学教養学部、「哲学Ⅰ」、2020.4～2020.9

東京大学教養学部、「初年ゼミナール文科」、2020.4～2020.9

東京大学教養学部、「現代哲学(Ⅰ)」、2020.4～2020.9

東京大学大学院総合文化研究科、「文化社会論演習(Ⅰ)」、2020.4～2020.9

東京大学大学院総合文化研究科、「比較文学比較文化演習Ⅴ」、2020.4～2020.9

東京大学教養学部、「現代哲学特殊研究」、2020.9～2021.3

(着任後)

非常勤講師、東京大学教養学部、「哲学Ⅰ」、2021.4～2021.9

非常勤講師、東京大学大学院総合文化研究科、「比較思考分析Ⅱ」、2021.4～2022.3

非常勤講師、東京大学教養学部、「現代哲学特殊演習Ⅱ」、2021.4～2022.3

(2) 学会

哲学会、理事、2011.4～

日本哲学会、編集委員、2019.7～

実存思想協会、理事 2013.10～、編集委員、2019.9～

ハイデガー・フォーラム、実行委員、2006.9～、事務局代表、2017.10～